

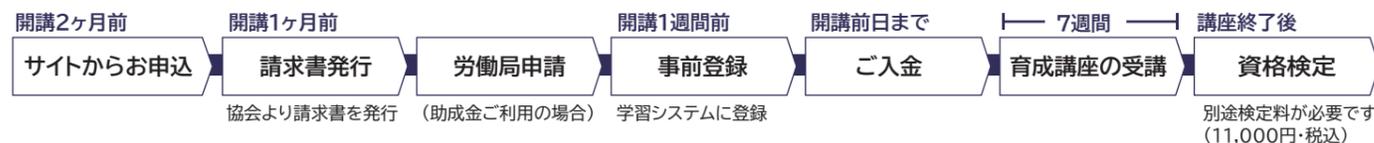
## 建設ディレクター育成講座、厚生労働省「人材開発支援助成金」のご紹介

建設ディレクター育成講座は、厚生労働省の助成金「人材開発支援助成金」をご利用いただけます。申請されるコース（人材育成支援・事業展開等リスクリング支援）選択は自社の受講目的（※1）によってご確認ください。 **どちらのコースをご利用されても講座内容は同じです。**

助成金コース	人材育成支援	事業展開等リスクリング支援
目的（※1）	多様な職業能力開発の機会として労働者に職務に関連した専門的な知識や技能を追加して習得させる、または新たな職業の遂行に必要な知識や技能を習得させるため。	事業展開を行うにあたり、新たな分野で必要となる専門的な知識及び技能の習得をさせるため。もしくは事業展開は行わないが、事業主において企業内のDX化やグリーン・カーボンニュートラル化を進める場合にこれに関連する業務に従事させる上で必要となる専門的な知識及び技能の習得をさせるため。
助成条件	・対象が雇用保険加入者であること ・全プログラムの80%以上を出席していること	
経費助成額	148,500円(受講料330,000 円の45%)	247,500円(受講料330,000 円の75%)
自社ご負担額	<b>181,500</b> 円+資格検定 11,000円（税込）	<b>82,500</b> 円+資格検定料 11,000円（税込）

助成金のご利用は開講1カ月前までに労働局へ計画届の提出が必要になります。諸条件により、助成額は変動いたします（別途「資金助成」有）。中小企業（労働者300人以下、資本金3億円以下）以外は助成金額が上表と異なります。助成金をご利用されない場合、通常の講座費用は**330,000円（税込）**になります。お申込時は講座費用をご入金いただき、受講修了後に支給審査の上（支給の場合）労働局から助成費用が支給されます。お申込時にメールにて必要書類の一覧等をご案内しております。  
※建設ディレクター資格検定料（11,000円）は助成対象ではありません。

## お申込みから資格認定までの流れ



もっと！詳しく知りたい方へ **まずは資料請求へ！**

**資料ダウンロード**できます

社内共有に！他社事例や成果がわかる！

ダウンロードはこちらから

現在受付中の「建設ディレクター育成講座」

**講座スケジュールはこちら**

オンデマンド×ライブ講座

ITスキルとコミュニケーションスキルで現場を支援

**建設ディレクター育成講座**

助成金ご利用のお申込みは **開講1か月前**まで

助成金ご利用なしのお申込みは **開講2週間前**まで

### engineer VOICE

**導入による時間の余裕が  
工事成績の評価点につながった**

抱えていた工事書類データを建設ディレクターが引き受けてくれたので定時で帰宅することが多くなりました。時間の余裕が心の余裕につながり、お互いで作業を分担、連携しているからこそ生まれる創意工夫があり、工事評定点が高くなるなど目に見える結果も出てきています。

**現場でしかできない  
業務に集中できる**

現場で確認したいことや気になる箇所をメールやチャットで尋ねればその場で建設ディレクターから返事が来る、自分は現場にいてもう一人の分身がオフィスにいるイメージです。そのおかげで現場の自分はその場でできない工事の段取りや、施工ロスの確認、安全管理、施主との対応に集中できるので、この協業体制は大きいと思います。



現場とオフィスをつなぐ、**「建設ディレクター」**を社内で育成しませんか

既存社員 or 新規採用



## 建設ディレクター育成講座申し込み受付中

建設ディレクター育成講座は建設会社に**既にお勤めの方**、もしくは**採用が決定された方**が対象です

働き方改革の課題解決に

**01 技術者の残業削減**

建設ディレクターはリクルートに強い！

**02 若手人材の採用**

脱属人化の働き方で企業知財を蓄積

**03 チームで働く組織へ**

現場を支える！ITとコミュニケーションで

**詳しくはこちら**

## 01 技術者の残業削減

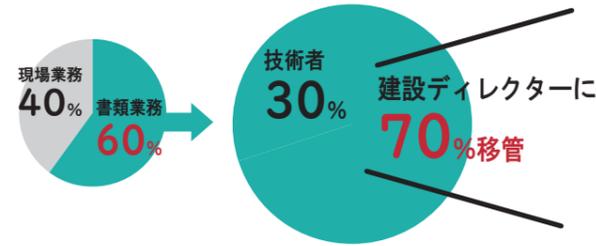
経営者の皆さま、ご存じですか？

「技術者業務の**60%は書類業務**」ということ！

導入2年目で**残業ゼロ！**  
書類業務、**70%移管！**



株式会社西九州道路(佐賀県)代表取締役 江頭一樹氏



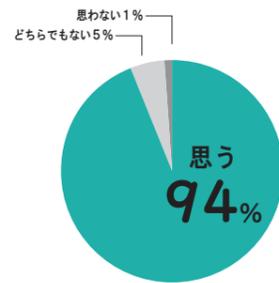
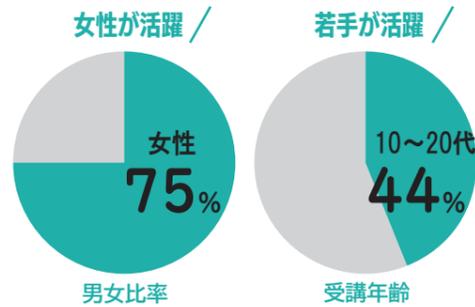
### 技術者の全書類業務のうち**70%**を移管しています！

建設ディレクターを採用後、技術者から建設ディレクターへの**書類移管70%達成**と、**残業月35時間減**に成功し受注時期によるもの「残業ゼロ」を達成しました。導入のきっかけは女性にとっても現場に立つ現場技術者より、書類業務の専門家である建設ディレクターのほうが活躍の幅が広がる、そう考えて2名の女性を中途採用し、建設ディレクター育成講座を受講してもらいました。受講後の指導は現場で若い人を数多く育ててきたベテラン技術者に依頼し、トライ&エラーの精神ではじめてもらいました。まずは写真管理やCADによる図面修正の手ほどきから入り、現在は施工体制台帳、出来形展開図作成、安全管理資料、電子納品などを手がけています。現場とバックオフィスの距離も近くなりました。**内製化にも成功**し、建設ディレクターの存在は、今後この業界にとってますます有益になると思います。

## 02 若手人材の採用

多様な人材が興味をもってくれる！

リクルートに強いんです！



- 学生が建設業に興味を持つきっかけになる
- 学校や家族の理解が得られる
- 学生が建設業で働くイメージを持ちやすい
- バックオフィスと現場の両方で将来的な活躍が見込める
- 出産・育児にも対応が可能で、継続的な就業が見込める
- デジタルを得意とする学生のスキルを活かせる

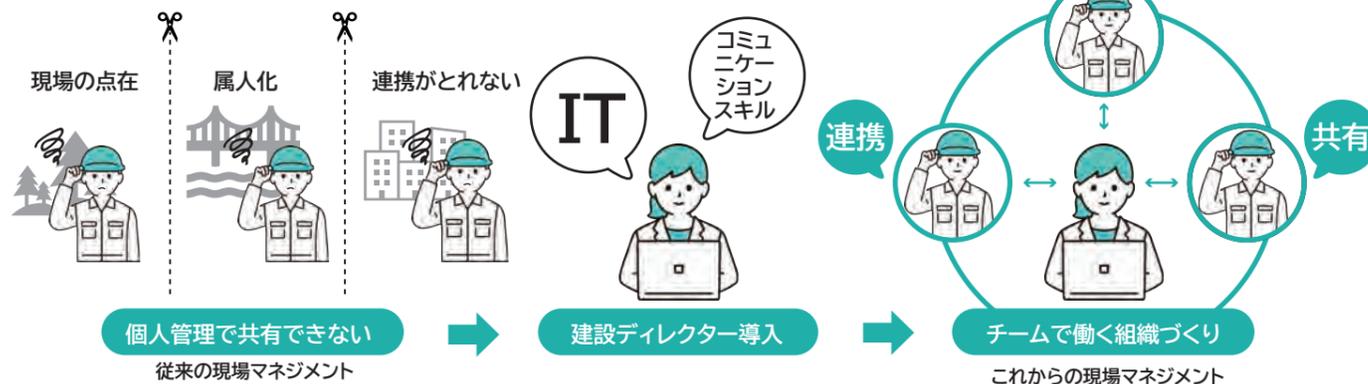
▲建設ディレクター育成講座 第1期～第74期実績より  
▲建設業経営者研修「現場を支援する建設ディレクターの効果と有効性について」事後アンケートより

「リモートワークができる」「女性のリクルートに有効！」

## 03 チームで働く組織へ

ITとコミュニケーションで現場とオフィスをつなぎ **業務標準化へ**

現場と社内が協力してチーム連携



## 建設ディレクター育成のながれ

### STEP1 候補者の決定

社内人材 OR 新規採用

CASE1: 建設ディレクターとして専任  
CASE2: 建設ディレクター業務と総務・経理業務との兼任

既存社員を育成する場合、建設ディレクターとして専任するケースと事務・総務業務と兼任して働くケースがあります。新規採用の場合、建設ディレクター専任として採用するケースが多いですが、他業務と兼任して働くケースもあります。

### STEP2 育成講座(全8講座)受講 料金は裏面記載

建設ディレクター育成講座オンライン受講

資格検定

資格授与

建設ディレクター

オンデマンド講座 + ライブ講座  
動画視聴 ライブ2回

講座ごとに専門家が担当しており、オンデマンド講座を中心としたオンライン形式の講座になっています。建設業の基礎知識から書類作成業務の内容まで多岐にわたり学んでいただけます。ライブ講座では技術者との業務連携に欠かせないマネジメントスキルを身につけるための事前課題や、グループワークを盛り込んでいます。全ての講座を受講した後「建設ディレクター」資格検定を受験し、一定の条件に満たした受講生に資格が授与されます。

### STEP3 業務連携

現場技術者から業務移管

書類業務

現場技術者の書類業務を整理し建設ディレクターに移管

建設ディレクターの働き方を定着させるには現場の受入体制が必要です。技術者の業務範囲を再設定し、建設ディレクターとの分業範囲を決定します。予定に沿って移管を進め、連携体制を確立させます。

## 育成講座カリキュラム

育成講座は建設ディレクターに必要な全8回のカリキュラムで構成されています。受講期間は開始から修了まで7週間となっており、ライブ講座は全2回、総講習時間は35時間になります。またオンデマンド講座は期間内に繰り返し視聴でき復習することが可能です。毎回の講習には事前課題を設定しており、自発的に技術者に質問の機会を設けるような課題を用意しています。

講習内容	視聴期間:7週間	全2回・午前/午後
全受講期間 7週 35時間	オンデマンド講座 29時間	ライブ講座 6時間
①建設業マネジメント I	← 動画視聴 →	
②建設基礎 I	← →	- ライブ講座に参加 →
③建設基礎 II	← →	
④建設業マネジメント II	← →	
⑤工事書類 I	← →	グループワーク
⑥工事書類 II	← →	
⑦入札と積算	← →	
⑧建設ICT活用	← →	

※期間中はオンデマンド全講座が視聴可能  
繰り返し学べる!

建設ディレクターに必要な

5つのスキルが身に着く！

- 建設基礎スキル
- 工事書類作成スキル
- デジタルスキル
- コミュニケーションスキル
- 業務連携スキル



## 受講後も継続的にサポートします！

建設ディレクター受講企業を対象としたサポート機関として「KDN(建設ディレクターネットワーク)」を設置しています。(加入条件あり)建設業の動向は急速に進んでおり、受講後も継続した学びや交流の場を確保することで建設ディレクターの持続可能な活躍が期待できます。有識者や専門家による講演、建設ディレクター導入企業による事例報告会等をオンラインと対面形式で定期的に開催しています。KDN内にデジタルに特化した学びと探求の場である「KDXラボ」があり、各ベンダー企業との勉強・研究会など実践的な内容をお届けします。

認定企業

Kansetsu Director Network

2025年(初旬)スケジュール

- 2月 「施工管理ソフトの活用」 講師:株式会社建設システム
- 3月 「建設ディレクターと生成AI」 講師:株式会社建設システム 講師:燈株式会社
- 4月 「3次元データ・ICT活用」 講師:福井コンピュータ株式会社

KDXラボ

参加可能

※KDN会員は建設ディレクターだけでなく、受講企業の経営者、技術者、建設ディレクターその他社員の皆さまが対象です。